

# あおもり 県議会だより

平成27年9月 第283回 定例会

発行/青森県議会 編集/青森県議会事務局 〒030-8570青森市長島1-1-1 電話:017-734-9796

青森県議会ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/gikai/home.html>



青森県議会

検索

目次

議長あいさつ ▶ ①

議員紹介 ▶ ②

定例会の概要 ▶ ④

一般質問の内容 ▶ ⑤

常任委員会 ▶ ⑬

特別委員会 ▶ ⑮

議会トピックス ほか ▶ ⑯



議長 しみず えつろう  
清水 悦郎  
会派:自由民主党  
選挙区:八戸市  
当選回数:5回



副議長 くどう かねみつ  
工藤 兼光  
会派:自由民主党  
選挙区:西津軽郡  
当選回数:4回

県民の皆様には、日頃から県議会に対する格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、地方分権改革の進展により地方自治を取り巻く環境が大きく変化し、地方議会の果たすべき役割がますます増大する中、県議会では、平成25年6月に、議会の基本理念を明らかにするとともに、議会活動の基本方針、議員の責務や役割、議会運営の原則などの本県議会に関する基本的事項を定めた「青森県議会

基本条例」を制定いたしました。

この条例に基づき、広報、広聴等の充実に関し協議・調整を行うため「広報図書委員会」を設置し、約2年間にわたって議会活動の基本方針の一つである「県民に開かれた議会運営」の具体的な取組について検討してまいりました。

その結果、新たに議会広報紙「あおもり県議会だより」を定例会ごとに発行することとし、このたび創刊号をお届けできる運びとなりました。

テレビや新聞による報道、県のホームページ等による議会広報に加え、この「あおもり県議会だより」を通じて、議会にどのような政策が提案され議論されているのか、各常任委員会や特別委員会ではどのような活動を行っているのかなど、県議会の活動について広く県民の皆様に分かちやすくお伝えするよう努めてまいりますので、是非ご愛読くださるようお願い申し上げます。

## 青森県議会議長あいさつ 「あおもり県議会だより」の創刊に当たって

青森県議会議長 清水悦郎

# 青森県議会の議員を紹介します（正・副議長は表紙に掲載しています。）

自由民主党					
					
もりうち のぼる <b>森内 之保留</b> 選挙区：青森市 当選回数：5回	えちぜん ようえつ <b>越前 陽悦</b> 選挙区：むつ市 当選回数：5回	あべ ひろえつ <b>阿部 広悦</b> 選挙区：南津軽郡 当選回数：6回	たなかじゆんぞう <b>田中 順造</b> 選挙区：十和田市 当選回数：7回	かみやま ひさし <b>神山 久志</b> 選挙区：東津軽郡 当選回数：8回	なりた かつのり <b>成田 一憲</b> 選挙区：五所川原市 当選回数：8回
自由民主党					
					
こひやま よしのり <b>小椋山 吉紀</b> 選挙区：三沢市 当選回数：3回	やまや きよふみ <b>山谷 清文</b> 選挙区：青森市 当選回数：3回	まるい ゆたか <b>丸井 裕</b> 選挙区：十和田市 当選回数：4回	みつはし かずみ <b>三橋 一三</b> 選挙区：つがる市 当選回数：4回	おかもと ゆきと <b>岡元 行人</b> 選挙区：弘前市 当選回数：4回	くまがい ゆういち <b>熊谷 雄一</b> 選挙区：八戸市 当選回数：4回
自由民主党					
					
ふじかわ とものが <b>藤川 友信</b> 選挙区：八戸市 当選回数：2回	ぬまお けいいち <b>沼尾 啓一</b> 選挙区：上北郡 当選回数：2回	えびさわ まさかつ <b>蛭沢 正勝</b> 選挙区：上北郡 当選回数：2回	たかはしゆういち <b>高橋 修一</b> 選挙区：青森市 当選回数：3回	くどう のりやす <b>工藤 慎康</b> 選挙区：上北郡 当選回数：3回	なつほり こういち <b>夏堀 浩一</b> 選挙区：上北郡 当選回数：3回
自由民主党					
					
はなだ えいすけ <b>花田 栄介</b> 選挙区：青森市 当選回数：2回	さいとう ちかし <b>齊藤 爾</b> 選挙区：弘前市 当選回数：2回	きくち けんたろう <b>菊池 憲太郎</b> 選挙区：むつ市 当選回数：2回	てらだ たつや <b>寺田 達也</b> 選挙区：五所川原市 当選回数：2回	よこはまつとむ <b>横浜 力</b> 選挙区：むつ市 当選回数：2回	くどう よしはる <b>工藤 義春</b> 選挙区：平川市 当選回数：2回
自由民主党					
					
たにかわ まさと <b>谷川 政人</b> 選挙区：弘前市 当選回数：1回	やまくち たきじ <b>山口 多喜二</b> 選挙区：平川市 当選回数：1回	さいとう なおひと <b>齊藤 直飛人</b> 選挙区：北津軽郡 当選回数：2回	なるみ けいいちろう <b>鳴海 恵一郎</b> 選挙区：黒石市 当選回数：2回		

民主党					
 たなか みつる <b>田中 満</b> 選挙区:八戸市 当選回数:1回	 しげたに てつかず <b>渋谷 哲一</b> 選挙区:青森市 当選回数:3回	 やまだ さとる <b>山田 知</b> 選挙区:八戸市 当選回数:4回	 まつお かずひこ <b>松尾 和彦</b> 選挙区:三戸郡 当選回数:4回	 たなが さだお <b>田名部 定男</b> 選挙区:八戸市 当選回数:6回	 きた きいち <b>北 紀一</b> 選挙区:三戸郡 当選回数:6回
青和会					
 きくち いさお <b>菊池 勲</b> 選挙区:弘前市 当選回数:1回	 せきりょう <b>関 良</b> 選挙区:青森市 当選回数:2回	 いちのへ ふみお <b>一戸 富美雄</b> 選挙区:青森市 当選回数:2回	 くしびき ゆきこ <b>榎引 ユキ子</b> 選挙区:五所川原市 当選回数:3回	 かわむら さとる <b>川村 悟</b> 選挙区:弘前市 当選回数:3回	
無所属	日本共産党			公明・健政会	
 こむら かずお <b>古村 一雄</b> 選挙区:青森市 当選回数:3回	 まつた まさる <b>松田 勝</b> 選挙区:八戸市 当選回数:1回	 あんどう はるみ <b>安藤 晴美</b> 選挙区:弘前市 当選回数:3回	 すわますいち <b>諏訪 益一</b> 選挙区:青森市 当選回数:6回	 よしだ きぬえ <b>吉田 絹恵</b> 選挙区:上北郡 当選回数:2回	 はたけやまけいいち <b>畠山 敬一</b> 選挙区:八戸市 当選回数:3回
 いぶき しんいち <b>伊吹 信一</b> 選挙区:青森市 当選回数:4回					

議員が所属する委員会の紹介 (◎委員長、○副委員長)

<常任委員会 各委員会定数8人>

- 総務企画委員会  
所管事項:総務部、企画政策部、出納局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会及び議会事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項  
◎山谷清文、○寺田達也、田中順造、熊谷雄一、松尾和彦、伊吹信一、齊藤爾、菊池勲
- 環境厚生委員会  
所管事項:環境生活部、健康福祉部及び病院局の所管に属する事項  
◎高橋修一、○蛭沢正勝、越前陽悦、夏堀浩一、安藤晴美、畠山敬一、谷川政人、田中満
- 農林水産委員会  
所管事項:農林水産部、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会の所管に属する事項  
◎工藤慎康、○横浜力、成田一憲、森内之保留、山田知、丸井裕、榎引ユキ子、古村一雄
- 商工労働観光エネルギー委員会  
所管事項:商工労働部、観光国際戦略局、エネルギー総合対策局及び労働委員会の所管に属する事項  
◎三橋一三、○藤川友信、神山久志、北紀一、一戸富美雄、菊池憲太郎、山口多喜二、松田勝
- 文教公安委員会  
所管事項:教育委員会及び公安委員会の所管に属する事項  
◎小松山吉紀、○工藤義春、田名部定男、清水悦郎、関良、吉田絹恵、鳴海恵一郎、齊藤直飛人
- 建設委員会  
所管事項:県土整備部及び収用委員会の所管に属する事項  
◎岡元行人、○渋谷哲一、諏訪益一、阿部広悦、工藤兼光、川村悟、沼尾啓一、花田栄介

<議会運営委員会 定数10人>

- 付託案件:議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項  
◎熊谷雄一、○小松山吉紀、松尾和彦、夏堀浩一、川村悟、横浜力、菊池憲太郎、花田栄介、鳴海恵一郎、山口多喜二  
※オブザーバー:畠山敬一、安藤晴美

<特別委員会>

- 新幹線・鉄道問題対策特別委員会(定数23人)  
付託案件:新幹線の早期完成及び県内鉄道の整備促進について  
◎成田一憲、○三橋一三、田中順造、北紀一、阿部広悦、熊谷雄一、岡元行人、松尾和彦、山田知、伊吹信一、山谷清文、夏堀浩一、高橋修一、榎引ユキ子、安藤晴美、藤川友信、蛭沢正勝、花田栄介、関良、吉田絹恵、鳴海恵一郎、谷川政人、菊池勲
- 原子力・エネルギー対策特別委員会(定数23人)  
付託案件:原子燃料サイクル事業の諸課題について  
◎神山久志、○丸井裕、諏訪益一、田名部定男、越前陽悦、森内之保留、小松山吉紀、工藤慎康、渋谷哲一、川村悟、畠山敬一、古村一雄、一戸富美雄、蛭沢正勝、沼尾啓一、工藤義春、横浜力、菊池憲太郎、齊藤爾、齊藤直飛人、山口多喜二、田中満、松田勝
- 東日本大震災対策特別委員会(定数46人)  
付託案件:東日本大震災に係る被害対策について  
◎熊谷雄一、○小松山吉紀  
委員は議長・副議長を除く全議員

# 9月定例会の概要

## 平成27年度一般会計補正予算案などを可決、 第80回国民体育大会招致を決議

平成27年9月第283回定例会は、9月18日に開会され、10月9日までの22日間にわたり開催されました。

初日の本会議では、議案第

1号「平成27年度青森県一般会計補正予算（第1号）案」をはじめ、25件の議案、24件の報告が上程され、三村知事から提案理由説明がありました。また、平成26年度決算の

内容や審査結果について、会計管理者等から説明が、決算及び基金運用状況の審査内容について監査委員から報告がありました。

なお、知事から、議案の提案理由説明に引き続き、平成37年に開催される第80回国民体育大会を青森県に招致したい旨の発言がありました。

9月29日から4日間にわたり一般質問が行われ、主に、来年3月に予定される北海道新幹線開業に関する対策、「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」の内容等について16名の議員が登壇して質問し、県当局からそれぞれ答弁がありました。

10月6日には議案に関する質疑が行われ、青森県一般会計補正予算案に計上された費目の事業内容等について、活発な質疑・答弁がありました。

今回提出された議案のうち、平成26年度決算については決算特別委員会に、人事案件を除く議案については各常任委員会に付託されました。

また、10月8日には新幹線・鉄道問題対策特別委員会が開催され、主に、並行在来線である青い森鉄道線の維持管理等について議論が交わされました。

最終日の10月9日は各委員会の委員長による委員会の審査内容の報告、討論が行われたのち採決が行われ、決算特別委員会に付託され閉会中の継続審査となった議案5件を除く、議案20件が可決されました。また、議員が提出した議案7件のうち、2件が可決されました。

各議案の議員ごとの賛否状況をホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



採決の様子



議案の提案理由説明を行う三村知事

### 今定例会で可決された主な議案

#### 補正予算関係（4件）

- 一般会計1件、特別会計2件、病院事業会計1件

#### 条例関係

- 青森県個人情報保護条例の一部を改正する条例案など8件

#### 工事の請負契約関係

- 青森県庁舎耐震・長寿命化改修工事に関する請負契約など6件

#### その他の議案（2件）

- 青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議の件
- 青森県教育委員会委員の任命の件

#### 議員が提出した議案

- 安全・安心の医療・介護を求める意見書
- 第80回国民体育大会の招致に関する決議

# 一般質問の内容



おかもと ゆきと  
**岡元 行人 議員**

会 派：自由民主党  
選挙区：弘前市

## 青天の霹靂

**問** 「青天の霹靂」のブランド化に向けた生産対策と販売戦略に、県はどのように取り組んでいくのか。

**答** (三村知事) 栽培マニュアルに基づき生産され、出荷基準を満たした米のみを「青天の霹靂」として販売する。

生産量が少ない本年産は、県内販売を中心としつつ、首都圏等では、話題性と良食味をアピールして限定販売するなど、デビュー年にふさわしい重層的なプロモーション活動に取り組んでいく。

## りんごの振興

**問** 平成26年産りんごの輸出・販売実績を踏まえて、県は青森りんごの振興に今後どのように取り組んでいくのか。

**答** (三村知事) 平成26年産りんごは、販売額が16年ぶりに1000億円の大台を突破し、県産が大半を占める国産りんごの輸出量も、3万トンを上回り過去最高を記録した。

県りんご協会などと連携しながら、次世代を担う人材への技術継承とともに、周年出荷体制の維持や、ICTの利活用などに取り組んでいく。

### 用語解説

#### 青天の霹靂

青森県産業技術センターが約10年の歳月をかけて開発した米の新品種の名称。粘りとキレのバランスと上品な甘みが特徴。2015年2月に参考品種ながら食味ランキングで県内初となる「特A」を取得し、10月から本格的な販売となった。

## 高校の専門学科

**問** 青森県立高等学校将来構想検討会議の

中間まとめにおいて、理数科、英語科・外国語科などの普通科系の専門学科の方向性は、どのように示されているのか。

**答** (教育長) 各専門学科が設置された当時と比べ、高等学校教育を巡る状況は変化しており、今後とも変化し続ける社会環境等に柔軟に対応するために、中学生や保護者のニーズも踏まえた上で、それぞれの設置意義を改めて見直す必要があるとされている。

## 学力の向上

**問** 確かな学力の定着には、学ぶ意欲や主体的に決に向かう態度などを身につける必要があると考えるが、県教育委員会の取組について

伺う。

**答** (教育長) 今年度の「施策の柱」の一つに「学ぶ意欲や主体的に探求する力の向上」を掲げ、「主体的に学ぶ力を育む学力向上推進事業」などの実施により、児童生徒の学習意欲や思考力・判断力・表現力を高める取組をしている。



やまだ さとまる  
**山田 知 議員**

会 派：民主党  
選挙区：八戸市

### 用語解説

#### 青森県立高等学校将来構想検討会議

県教育委員会が平成30年度以降の県立高等学校の在り方を検討するため、平成26年度に設置した会議。同会議では、社会の変化や生徒数の急激な減少に対応し、夢や志の実現に向けた知・徳・体を育む県立高等学校の在り方について、検討している。



えびさわ まさかつ  
**蛸沢 正勝 議員**  
会 派：自由民主党  
選挙区：上北郡

用語解説

畜産再興プラン

平成27年3月に国が策定した「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」において、今後3年間で緊急に対応すべき優先課題に対する取組を促進するための計画。

## むつ小川原開発

### 問

まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略における、魅力あふれるしごとづくりの推進について、県は、むつ小川原開発の推進にどのように取り組んでいくのか。

### 答

(三村知事)  
むつ小川原地域には、重要なエネルギー関連企業や研究機関が立地しているが、この地域のポテンシャルを最大限に生かし、成長産業の立地と研究開発拠点の整備による「科学技術創造圏の形成」を目指す。

## 自給飼料の増産

### 問

国の「畜産再興プラン」に沿った県の取組において、畜産における自給飼料の増産にどのように取り組んでいくのか。

### 答

(農林水産部長)  
公共牧場の広域的な利用を進める観点から、利用が低下している公共牧場と県内の飼料生産組織とのマッチングを支援していくほか、牧草の優良品種や新たな雑草の駆除方法の導入を進め、収量の向上を図りながら取り組んでいく。

## 鉱害防止事業

### 問

休廃止鉱山における鉱害防止の取組は、事業活動終了後も半永久的に続けなければならない場合があると聞く。鉱業権者が現存しない休廃止鉱山の鉱害防止事業は国が行うべきでないか。

### 答

(商工労働部長)  
鉱害防止事業を実施する12道県で構成する全国金属鉱業振興対策協議会は、国の責任と負担で実施するよう毎年要望してきた。今後とも関係道県と連携して国に要望活動を展開するとともに、鉱害防止事業を適切かつ着実に実施していく。

## 都市計画道路

### 問

青い森鉄道で東西に分断された三沢市街地を結び、上北自動車道や金矢工業団地へのアクセス路となる都市計画道路3・4・3号中央町金矢線の整備状況と今後の見通しを伺う。

### 答

(県土整備部長)  
延長1564メートルのうち昨年度まで約700メートルが概成した。今年度末までに三沢大橋の舗装を行う。今年度末の進捗率は事業費ベースで約95パーセントと見込まれる。来年度の完成を目指し、工事の促進に努めていく。



こひやま よしのり  
**小松山 吉紀 議員**  
会 派：自由民主党  
選挙区：三沢市



建設が進む中央町金矢線の道路工事



い ち の へ ふ み お  
**一戸 富美雄 議員**

会 派：青和会  
選挙区：青森市



除雪作業の様子

## 難病対策

**問**

患者が少なく、原因不明で治療法が未確立などの難病の支援のため、公平で安定的、総合的な医療費助成制度の確立を目的に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が本年1月に施行されたが、県は難病対策に今後どのように取り組んでいくのか。

**答**

(三村知事)  
国の基本的な方針を踏まえ、難病の患者に対する医療費助成、医療を提供する体制の確保、療養生活の環境整備などを総合的に推進する。

## 除排雪対策

**問**

学校及び病院の周辺道路、バス路線等は、県民生活において重要であり、重点的に除排雪に取り組むべきと考えるが、県としてどのように捉え、除排雪を行っているのか。

**答**

(県土整備部長)  
県では、路線の重要性、沿道の条件、代替路線の有無、気象条件等を勘案し除排雪を実施しているが、学校及び病院の周辺道路、バス路線等は、路線の重要性として重要な要素であり、利用状況等に応じ、適時適切な除排雪を実施するため、現地のパトロール活動の強化や気象予報の更なる活用等に努める。

## あおもり藍



い ぶ き し ん い ち  
**伊吹 信一 議員**

会 派：公明・健政会  
選挙区：青森市

**問**

「あおもり藍」はその染色堅牢性、抗菌・抗臭性などから、有名百貨店や海外有名ブランドからもオファーが寄せられており、県としても「あおもり藍」のブランド化を進めるべきと考えるが、県の見解を伺う。

**答**

(三村知事)  
「あおもり藍」の一層のブランド化に向け、県中小企業団体中央会等の関係機関と連携しながら、生産者や企業のニーズに応じた支援を積極的に進めていきたい。

## がん教育



「あおもり藍」の栽培現場

**問**

がんを知り命の大切さを伝えるがん教育を進める上で、県教育委員会や医療関係者等の外部講師と情報共有を図るため、協議の場を設置するなど関係者間の連携が重要だと考えるが、県の見解を伺う。

**答**

(健康福祉部長)  
県がん対策推進協議会といった既存の協議等を活用し、県教育委員会や、がんの専門家である医療関係者、がん経験を語ることができると連携して、がん教育の推進に取り組んでいきたい。



はなだ えいすけ  
**花田 栄介 議員**

会 派：自由民主党  
選挙区：青森市

## 保育環境の整備

**問** 子育て世代のニーズの多様化に対応し、仕事と子育てが両立できる保育環境の整備について、今後の取組を伺う。

**答** (健康福祉部長) 県では、多様で良質かつ適切な保育を提供する体制が確保されるよう、施設の認可・認定や定員の増減等、必要な支援に取り組みほか、職場に近接する利便性の高い場所において働く女性のニーズが高いまちなか保育を推進し、保護者の選択による満足度の高い保育を提供していく。

## 北海道新幹線

**問** 奥津軽いまべつ駅への停車本数が増えれば、乗降客数も増加し、より多くの経済効果を獲得できると考へるが、停車本数の拡大に向けて、県はどのように取り組んでいくのか。

**答** (三村知事) 奥津軽いまべつ駅は、津軽半島周遊の新たな拠点として、半島振興の中核的な役割を担うものと認識している。県としては、引き続き、停車本数の確保に向けて、県議会などとともに、JR各社をはじめ関係機関への働きかけを行っていく。



開業を控え、整備が進む奥津軽いまべつ駅

## 青天の霹靂

**問** 青森県期待の県産米新品种「青天の霹靂」のブランド確立に向けて、生産・出荷の体制はどのようになっているのか。

**答** (農林水産部長) 「あおもり米」「青天の霹靂」ブランド化推進協議会」で申し合わせた、生産面や出荷面に関する基準等の取組状況を確認する体制を整えており、その基準を満たした米だけを「青天の霹靂」の名称で販売し、ブランド化を図っていく。



てらだ たつや  
**寺田 達也 議員**

会 派：自由民主党  
選挙区：五所川原市

## 病児保育事業

**問** 子供が病気の時に、病院・保育所等で一時的に保育するなど、安心して子育てができることを目的とした病児保育事業について、県は今後どのように進めていくのか。

**答** (健康福祉部長) 県では、保護者のニーズが高い病児保育について、必要とされる地域において適切に実施されるよう、今年度を実施する病児・病後児保育促進支援事業において病児保育運営マニュアルを作成し、全国的に病児保育事業の促進を図る。



「青天の霹靂」の稲刈り作業



## 大鰐町の財政

**問** 大鰐町が財政健全化計画を7年前倒しで完了し、9月には知事に対して計画の完了報告が行われたが、財政健全化団体脱却に対する所感を伺う。

**答** (三村知事) 大鰐町が町議会や町民の皆様方と一丸となって、厳しい行財政改革に取り組み、成果であると考えている。今後は、町民の皆様方のために、持続可能な財政構造を確立するとともに、元気で魅力ある地域社会の形成に向けて取り組んでいただきたい。



やまぐち たきじ  
**山口 多喜二 議員**

会 派：自由民主党  
選挙区：平川市

## 冬の観光誘客

**問** 本県観光産業の発展には、魅力ある観光資源を活用し、海外からの冬期間の誘客促進が欠かせないと考えるが、県はどのように取り組むのか。

**答** (観光国際戦略局長) 本県と気候風土が大きく異なる諸外国からの誘客促進が重要であると考えており、本県の雪自体が魅力的なコンテンツである東南アジア諸国に対しては、現地で開催される国際旅行博への出展等を通じて冬の魅力をPRするなど、引き続き、しっかりと取り組んでいく。



冬のイベントの一つである「十和田湖冬物語」

## 平和安全法制

**問** 「平和安全法制関連2法」について、国の防衛のあり方を大きく変える重要な案件を、多数の反対意見と国会での成立に反対という国民の世論に背いて、政府が国会で成立させたことに対する知事の見解を伺う。

**答** (三村知事) 法案に対する様々な意見や世論がある中で、国民の代表である国会での審議を経て成立に至ったものであり、今後、政府においては、国民の理解をさらに深められるよう、より丁寧な説明に努めていただきたいと考えている。



あんどう はるみ  
**安藤 晴美 議員**

会 派：日本共産党  
選挙区：弘前市

## 性同一性障害

**問** 性的マイノリティへの取組について、性同一性障害等で精神的な悩みを抱えている人に対し、県ではどのような機関で相談対応しているのか。

**答** (健康福祉部長) 性同一性障害等の精神疾患によって悩みを抱えている方については、各保健所や県立精神保健福祉センターで実施している精神保健福祉相談において相談対応しているところであり、必要に応じて精神科医療機関の紹介等を行っている。



### 用語解説

#### 県立精神保健福祉センター

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所をはじめ精神保健福祉活動に関わる各機関に対し、専門的な立場から技術指導及び援助を行う機関。「こころの電話」などの相談も行っている。青森市内に所在。

## 知事の初心

**問** 知事は、先の知事選挙に当たったの選挙公報に「初心を忘れず」と記載しているが、知事の初心とはいかなるものか。

**答** (三村知事)

常に県民の目線、生活者の視座に立ち、すべては青森県民のため、ふるさと青森の再生・新生のために、身を捨てる覚悟をもって、県政の諸課題の解決に愚直に一步一步前進していくことを心に誓い、これまで12年間、全身全霊を傾けて努力を続けてきた。



こむら かずお  
**古村 一雄 議員**

会 派：無所属  
選挙区：青森市

## 核燃料サイクル

**問** これまでのトラブル事象を顧みると、日本原燃株式会社が再処理事業を安全に実施していくことは困難であり、県は、核燃料サイクル政策への協力を見直すべきと考えるが、県の見解を伺う。

**答**

(知事エネルギー総合対策局長)  
原子力発電及び核燃料サイクルの推進が我が国を支える重要な国家戦略であるとの認識の下、安全確保を第一義に協力してきた。

県としては核燃料サイクル政策が破綻しているとは考えていない。国においては、これまでの立地地域の協力関係を十分に踏まえ、当面する課題を一つ一つ解決しながら、長い目で責任をもって取り組んでいただきたい。

## 女性の活躍推進

**問** 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が制定され、女性の活躍推進に向けた取組が加速していく中で、県は取組を強力に推し進める必要があると考えるが、基本的な考え方を伺う。

**答** (三村知事)  
「女性活躍推進法」を踏まえつつ、これまでの取組を更に推進し、様々な分野においてチャレンジする女性人材を育て、社会全体で女性が活躍できる環境を整備していくことが、本県の新たな活力の創造につながっていくものと考えている。



たかはし しゅういち  
**高橋 修一 議員**

会 派：自由民主党  
選挙区：青森市

## 教科書採択

**問** 教科書採択への対応について、質の高い教科書の活用を通じ、今後、主権者教育の充実や日本国憲法に関する正しい知識の習得を図ることが重要と考えるが、県教育委員会の見解を伺う。

**答** (教育長)

採択の対象となる教科書は、文部科学大臣による検定に合格したものであり、県教育委員会としては、各学校において、主たる教材である教科書を活用しながら、主権者教育や憲法についての学習が今後とも適切に行われるものと考えている。

### 用語解説

#### 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律

女性の職業生活における活躍を迅速かつ重点的に推進し、豊かで活力ある社会を実現するため、女性の職業生活における活躍の推進について、その基本原則を定め、国・地方公共団体・事業主の責務を明らかにした法律。平成27年9月4日公布。



しづかに てつかず  
**渋谷 哲一 議員**

会 派：民主党  
選挙区：青森市

**用語解説**

**スクールカウンセラー**

児童生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じるとともに、教師や保護者に対して助言・援助を行う専門家。臨床心理士などがあてられる。

**障がい者雇用**

**問** 教育委員会の障がい者雇用率が法定雇用率を下回っているが、改善に向けて今後どのような取組を実施していくのか。

**答** (教育長)

障がい者雇用率を引き上げるためには、教員に障がい者を雇用することが求められるが、教員採用候補者選考試験の受験者数自体が少ないという課題がある。引き続き改善に向けて他県の取組等を参考にしながら検討していきたい。

**いじめ防止対策**

**問** いじめ防止のため、全小学校にスクールカウンセラーを配置すべきと思うが、スクールカウンセラーの配置状況及び活動状況について伺う。

**答** (教育長)

平成27年度は、配置校を17校拡充し、中学校104校、小学校57校に定期的に派遣し、また、全ての公立小・中学校及び県立学校を対象に、学校からの要請に応じて随時派遣している。スクールカウンセラーは、校内の教育相談に関する事例研究会の講師を務めたり、教職員への助言も行っている。

**総合戦略の検証**



きくち いさお  
**菊池 勲 議員**

会 派：青和会  
選挙区：弘前市

**用語解説**

**スポーツ・コミッション**

スポーツ振興等を目的に自治体・民間企業（スポーツ産業・観光産業など）、スポーツ団体等が連携・協働して取り組むことを目的とした連携組織のこと。

**問** 総合戦略の実効性を確保するには、総合戦略の取組を検証し、改善するP D C Aサイクルの確立が重要と考えるが、どのように検証を行っていくのか。

**答** (企画政策部長)

総合戦略では、基本目標等を設定し、検証・改善を図る仕組みとして、P D C Aサイクルを運用することとしているが、基本計画のマネジメントサイクルと一体的に運用し、青森県総合計画審議会による検証も実施しながら、実効性を確保することとしている。

**スポーツ振興**

**問** 地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることができるとスポーツ・コミッションは重要であり、県でも設立に向けた準備を進めているようだが、これまでと今後の取組を伺う。

**答** (教育長)

平成24年度から、公開セミナー等を開催し、スポーツ・コミッションの意義を発信してきた。今後は研修会を開催するなど、地域の特色を生かして自主的・持続的に活動を展開できるスポーツ・コミッションの設立を支援していきたい。

## 介護人材の確保

**問** 県は、介護分野の人材確保について、具体的にどのような展開していくのか。

**答** (三村知事)

参入促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の3つの観点を推進戦略の柱とした福祉・介護人材確保定着に係るブランドデザインを、本年度中に策定する。

7月には県福祉・介護人材確保定着推進協議会を設置し、県や関係機関の適切な役割分担及び連携に基づく推進体制を構築し、必要な施策の検討を進めている。



ふじかわ とも のぶ  
**藤川 友信 議員**

会 派: 自由民主党  
選挙区: 八戸市



多くの観光客が訪れる種差海岸の天然芝生地

## 三陸の観光振興

**問** 三陸復興国立公園の優れた自然景観や地域の多彩な食文化等を活用した観光振興に、どのように取り組んでいくのか。

**答** (観光国際戦略局長)

種差海岸におけるトレッキング、天然芝生地での朝ヨガや朝食、漁港での漁師鍋ランチなど、ここでしか体験できない観光コンテンツの充実・強化を図るとともに、首都圏等のメディアや旅行エージェントに対する情報発信を行っている。

## 下北道の建設



よこはま つとむ  
**横浜 力 議員**

会 派: 自由民主党  
選挙区: むつ市

**問** 下北半島の国土強靱化を推進する上で極めて重要である下北半島縦貫道路全線の取組について伺う。

**答** (三村知事)

現在、むつ南バイパスについては、優先的に整備しており、吹越バイパスについては、(仮称)吹越跨線橋の上部工工事及び改良工事を進めており、横浜南バイパスについては、道路及び構造物の詳細設計を進めている。なお、むつ市・横浜町間の未着手区間の新規事業化については、昨年度、ルート帯などを決定し、地元と合意が得られたところである。

## 教職員の負担

**問** 教員が直接子供と向き合う授業や生徒指導に注力できる環境をつくる

ことが重要と思うが、教職員の多忙化の解消に向け、県教育委員会ではどのように取り組んでいるのか。

**答** (教育長)

本年2月、市町村教育委員会関係者等の代表からなる多忙化解消検討委員会を設置し、部活動指導に係る教職員の負担軽減、事務処理の効率化、働きやすい環境の構築等の項目について検討を進めており、12月を最期に最終報告を取りまとめる予定である。

### 用語解説

#### 下北半島縦貫道路

将来、むつ市と東北縦貫自動車道八戸線を連絡する延長約68kmの規格の高い道路であり、「地域間の交流促進」、「救急医療ネットワークの向上」などの役割を担う重要な路線。現在、野辺地ICから六ヶ所ICまでの間が供用中。

# 常任委員会の審査・活動状況

## 総務企画委員会

総務企画委員会は、9月8日から10日にかけて東青・下北・道南地区における調査を実施しました。

今別町では、北海道新幹線奥津軽いまべつ駅の開業に合わせた取組について、町から説明を受け意見交換を実施したほか、町が整備した隣接する待合室や無料駐車場を視察しました。

むつ市では、海軍の街大湊を中心に賑わいの創出をするべく整備した北の防人館（さきもり）安渡館（あんどかん）や海望館（かいぼうかん）を視察し、質疑応答を行いました。

風間浦村では、下北地域健康ウォーキング&ジョギングロード事業について、実際にウォーキングをしながら説明を受けるとともに、意見交換を行いました。

北海道北斗市では、北海道新幹線新函館北斗駅の駅舎内に入り、開業準備状況について説明を受け、駅施設を視察しました。



新函館北斗駅舎内の施設見学

## 環境厚生委員会

環境厚生委員会は、9月1日から3日にかけて上北・三八地区、岩手県において調査を実施しました。

六ヶ所村立おぶちこども園では、今年度開設した幼保連携型認定こども園の概要及び運営状況について説明を受け、園内の施設を視察しました。



手術可能なドクターカーの開発について視察（八戸市立市民病院）

八戸市立市民病院では、ドクターヘリ及びドクターカーの運用状況について今秀明救命救急センター所長から説明を受け、救急医療体制に係る今後の課題等について質疑応答を行い、導入が予定されている手術が可能なドクターカーを視察しました。

八戸市南郷区にあるバイオ・リサイクルセンター南郷では、食品残さを堆肥にリサイクルする事業について、事業者と食品残さの受入れ等の課題など質疑応答を行い、リサイクルの工程を視察しました。

岩手県葛巻町では、同町の基幹産業を生かしたクリーンエネルギーの取組等について説明を受け、各施設を視察しました。

## 農林水産委員会

農林水産委員会は、深浦町広戸地区、追良瀬地区のアカマツ・クロマツに松くい虫被害の発生が確認されたことを受け、9月17日に、広戸地区の被害箇所において調査を実施しました。

現地では、松くい虫被害の状況や、枯死木の伐倒・くん蒸処理、異常木判別のためのヤニ打ち調査などの各種対策について、西北地域県民局地域農林水産部から説明を受け、今後の被害拡大防止に向けた取組に関して意見交換を行いました。

また、翌18日には、工藤慎康委員長が上京し、農林部と合同で、農林水産省、県選出国會議員に対して、松くい虫被害対策経費に対する支援、防除対策に係る情報提供や指導などを求める要望活動を実施しました。



本川農林水産事務次官への要望活動の様子

## 商工労働観光エネルギー委員会



新函館北斗駅の駅構内視察

商工労働観光エネルギー委員会は、9月8日から10日にかけて下北・道南地区の調査を実施しました。

下北地区では、(株)ANOVA、東通原子力発電所及び安渡館・海望館において、それぞれの事業概要等についての説明を受け、意見交換をするとともに、現地を視察しました。

また、道南地区では、函館

アリーナにおいて、函館市の観光振興の取組について説明を受けた後、コンベンション施設としても活用できるアリーナ施設を視察したほか、平成28年3月の北海道新幹線開業に向けて建設が進められている新函館北斗駅においては、施設の概要について説明を受けながら、駅構内を視察しました。

## 文教公安委員会



県立五所川原農林高等学校の校内視察

文教公安委員会は、9月8日から10日にかけて東青・中南・西北地区、秋田県において調査を実施しました。

県立五所川原農林高等学校では、特色ある学校教育の取組として、五所川原6次産業化推進協議会の取組について説明を受け、質疑応答後、校内を視察しました。

清藤家庭園では、県名勝指定された庭園の保護・管理について説明を受け、質疑応答

後、庭園を視察しました。

高速道路交通警察隊碓ヶ関分駐隊では、高速道路交通警察隊の活動状況について説明を受け、質疑応答後、施設や装備、訓練状況を視察しました。

秋田県立秋田北鷹高等学校では、特色ある学校教育の取組として、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の取組について説明を受け、質疑応答後、校内を視察しました。

## 建設委員会



八戸港内港を海上から視察

建設委員会は、9月1日から2日にかけて上北・三八地区の調査を実施しました。

上北地区では、上北地域県民局において概況説明を受けた後、三沢海岸高潮対策事業、中央町金矢線街路事業、奥入瀬川地震・高潮対策事業の現地を調査し、それぞれ質疑応答を行いました。

また、三八地区でも三八地域県民局において概況説明を受け、馬淵川床上浸水対策特別緊急事業、国道454号豊間内バイパス道路改良事業、八戸港内港(白銀、河原木、八太郎地区を海上から視察)の現地を調査し、それぞれ質疑応答を行いました。

# 特別委員会の審査・活動状況

## 決算特別委員会を開催し、平成26年度決算を可決・認定

10月6日の本会議で、委員23名で構成する決算特別委員会が設置され、本会議後の組織会で委員長に小松山吉紀議員、副委員長に藤川友信議員が互選されました。

10月15日、16日、19日の3日間、「決算の認定を求める件」をはじめ、付託された5議案に関し、県が平成26年度に実施した事業内容、成果等について、9名の委員による活発な質疑が行われ、質疑後、付託された5議案は全て可決・認定されました。

主な質疑の内容は以下のとおりです。

**問** 金融支援以外に県が取り組んだ米価下落対策の内容について伺う。

**答** 稲作農家が、経営計画策定の際に参考となるよう、水稲の一部を野菜等に転換する収益性の高い複合経営モデルを地域別に提示するとともに、経営相談会等を各市町村ごとに開催して、きめ細かに助言・指導を実施した。

また、米価下落の補填制度であるナラシ対策の対象となる認定農業者を増加させるため、農業経営改善計画の策定支援を行った結果、認定農業者数が約1500経営体増加した。

さらには、低コスト生産に必須となる、ほ場の大区画化などの生産基盤整備に必要な予算の確保に努めてきたほか、「青天の霹靂」のデヒューに向けて生産体制を整えるなど、水田農業の再構築に向けた施策を展開してきた。

**問** 障害者雇用促進加速化事業の内容と成果について伺う。

**答** 県内の事業所を訪問し、障害者雇用に関する各種助成・支援制度の周知と雇用先・実習先の開拓を行っているほか、障害者雇用を考えている事業主を対象に、雇用実績がある事業所の見学会等を県内6地区において年10回開催している。

また、障害者への就職支援として、事業所における短期の職場実習や実践型の職業訓練を実施しており、平成26年度は50名が実習や訓練を受け、そのうちの84%に当たる42名の就職につなげた。



採決の様子

特別委員会の審議の内容は青森県議会のホームページから動画を配信しています。ぜひご覧ください。

## 新幹線・鉄道問題 対策特別委員会が 要望活動を行いました

新幹線・鉄道問題対策特別委員会は、10月29日に、県執行部と合同で、国土交通省及び県選出国会議員に対し、要望活動を実施しました。

津島淳国土交通大臣政務官に対しては、青い森鉄道の安定運営を確保するための財政支援制度の創設や北海道新幹線奥津軽いまべつ駅への上下各10本以上の停車本数の確保及び北海道新幹線の青函共用走行区間における高速走行の更なる増便について要望を行い、意見交換を行いました。



津島政務官に要望書を手渡す新幹線・鉄道問題対策特別委員会のメンバー



懇談会で安倍晋三内閣総理大臣と握手する清水議長

## 内閣総理大臣と 都道府県議会議長との 懇談会が行われ、 清水議長が参加しました。

10月5日に内閣総理大臣官邸で、内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会が行われ、本県から清水議長が参加しました。

懇談会では、各都道府県の議長から「女性の活躍推進について」・「農業の発展に必要な生産基盤の拡充について」・「火山・地震災害対策について」など幅広いテーマでの発言がありました。

## 第283回定例会で可決された議員提出議案の内容

### 意見書

#### ○安全・安心の医療・介護を 求める意見書

(意見書の主な内容)

後期高齢者の増加による要介護高齢者の増加、医療の高度化・患者のニーズの多様化等により、長時間労働など医療・介護従事者の労働環境は依然として厳しく、離職者も増大し、深刻な人材不足となっていることから、国に対し、「夜間・交替制勤務を行う看護職及び介護従事者などの労働環境の改善を図ること」及び「医師・看護職及び介護従事者などの十分な確保策を講じること」を要望。

### 決議

#### ○第80回国民体育大会の招致に関する決議

(決議の内容)

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を図ることを目的として開催されており、併せて地方におけるスポーツの振興と文化の発展に寄与してきた。

本県は、昭和52年に、「あすなろ国体」をテーマとして、「心ゆたかに力たくましく」のスローガンの下、第32回国民体育大会を開催した。県民総参加で成功させたこの大会は、県民に多くの感動と成果を残し、本県のスポーツ振興及び県勢発展の大きな原動力となった。

国民体育大会を再び本県に招致することは、本県の選手強化をはじめとするスポーツ振興に寄与するものである。

また、県民の連帯感や郷土意識を醸成するとともに、活力に満ちた郷土づくりを推進し、さらには、スポーツを通じた県民の健康づくりによる健康寿命の延伸のためにも極めて意義深いものである。

よって、本議会は、平成37年の第80回国民体育大会(本大会)を青森県に招致することを強く要望する。

### 県議会からの お知らせ

#### ○請願の提出について

請願の提出には、県議会議員の署名が必要になります。  
請願を提出する方は、議員の紹介を受けた上で、一般質問初日の午後1時までに県議会議務局までに提出してください。  
なお、提出期限の日時は、定例会ごとに議会ホームページでお知らせします。

#### ○本紙や県議会に関するご意見・お問合せ先

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会議務局 調査課  
電話 017(734)9796(直通)